

## 中期目標案に対する評価委員からのご意見について

評価委員からの意見要旨	ご意見への対応
(ア) 全体	
<p>① 内容が盛りだくさんな中期目標となっているが、目標を作っただけにならずに、きちんと実現されるようにしていく必要がある。</p>	<p>ご意見のように、中期目標がきちんと実現されることが重要です。そのため、現在、中期目標案を実現するための中期計画案づくりに取り組んでおります。今後、第3回評価委員会に計画案を提出し、ご審議いただく予定です。</p>
<p>② 広大な市域を支える要としての活動として、日本版CCRCの実現に向け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康でアクティブな生活の実現と継続的ケアの提供</li> <li>② 自立した生活ができる居住環境の提供</li> <li>③ コミュニティーの形成</li> </ul> <p>を一体的に実現するための静岡病院の果たすべき役割を明確にする必要がある。</p>	<p>日本版CCRCについては、現在、国の有識者会議において、その内容等について検討が行われているところです。</p> <p>一般的に、高齢者が医療・介護といったケアが必要となった場合、静岡病院は、病病・病診連携のもとに、救急や高度急性期医療を提供する役割を担うものと考えますが、今後、日本版CCRCの内容が明確になった際に、さらなる検討が必要になると考えております。</p> <p>※「日本版CCRC」：都会の高齢者が地方に移り住み、健康状態に応じた継続的なケア環境の下で、自立した社会生活を送ることができるような地域共同体。</p> <p>「まち・ひと・しごと創生総合戦略について（平成26年12月27日閣議決定）」において、2014年度に有識者や関係省庁が参画する検討会を設置し、2015年度中に事業実施主体、サービス内容等について課題及び論点を整理し、結論を得たうえで、成果目標を設定し、2016年度以降モデル事業を実施するとされています。</p>

評価委員からの意見要旨	ご意見への対応
<b>(イ) 第2-4-(1) 患者ニーズに応じた病院環境の提供（中期目標案4ページ）</b>	
① 病院内に花や緑があれば患者の精神面によい影響を与えるのではないか。	<p>中期目標案で位置付けている「利用しやすく快適な病院」は、ご意見のように、患者さんになるべく病院でストレスを感じず、安心して過ごせることも必要であると考えております。</p> <p>いただいたご意見も踏まえて中期計画案を検討してまいります。</p>
② 待ち時間対策に色々アイデアを集めたらよい。金をかけずにできることもあるのではないか。	
③ 患者ニーズに応じた病院環境の提供について、例えばセラピー犬の導入など、新しい発想を取り入れていく考えはないか。	<p>また、「利用しやすく快適な病院」は、提供される医療と、病院環境の2つの観点があるものと考えますので、 第2、4、(1)の表題 「患者ニーズに応じた病院環境の提供」を、「患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供」とし、 文中 「患者ニーズを把握したうえで、患者にとって利用しやすく快適な病院環境を確保すること。」を、 「提供する医療や病院環境に係る患者ニーズを把握して、そのニーズに対応し、患者にとって利用しやすく快適な病院づくりを進めること。」といたします。</p>
④ 患者ニーズに応じた病院環境の提供は非常に大切であり、「患者ニーズの把握」を早急に行い、対応を考える必要がある。	<p>患者ニーズについて、日々の診察や接遇、「提案箱」や相談窓口等への意見、毎年実施している「患者満足度調査」により把握し、そのニーズへの対応を行っています。</p> <p>独法化後も、このような患者ニーズの把握とその対応を継続させる必要があると考えております。</p>
<b>(ウ) 第2-5-(1) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携（中期目標案4ページ）</b>	
① 市内の公的病院の中で、静岡病院がどのような立ち位置でこれから進んでいこうとしているのか。	<p>患者の疾病状況に応じた的確な医療の提供に向け、静岡病院の特徴を生かしつつ、本市医療機関の連携・ネットワークの一員として、他の医療機関と共に必要な医療を提供していく必要があると考えます。</p> <p>このことを表現するため、第2、5、(1)の文中、 「患者の疾病状況に応じた的確な医療の提供に向け、静岡病院の高度急性期病院及び地域医療支援病院としての役割を踏まえながら、清水病院、他の医療機関、医師会と連携し、病病連携及び病診連携を推進するとともに、・・・」を、 「患者の疾病状況に応じた的確な医療の提供に向け、静岡病院の高度急性期病院及び地域医療支援病院としての役割を踏まえながら、本市医療機関の連携・ネットワークの一員として、清水病院、他の医療機関、医師会と連携し、病病連携及び病診連携を推進するとともに、・・・」といたします。</p> <p>なお、静岡病院の具体的な役割については、中期目標案 第2、1 「地域医療を支える要としての静岡病院」において位置付けております。</p>

評価委員からの意見要旨	ご意見への対応
(工) 第3-1-(1) 働きやすい職場環境の整備 (中期目標案5ページ) (2) 職員のやりがいと満足度の向上 (中期目標案5ページ)	
① 医師等、職員のメンタルヘルスも含めた健康管理をしっかり行う必要がある。	職員が安定的に継続して勤務していくためには、ご意見の内容は大切な事項です。 第3、1、(1)の文中 「職員のワークライフバランスや職場の安全衛生の確保などの職場環境の改善に努め・・・」を、 「 <u>職員のワークライフバランスの推進、メンタルヘルスも含めた健康管理の実施、職場の安全衛生の確保など、職場環境の改善に努め・・・</u> 」 といたします。
② 医療関係者(医師、看護師)の処遇改善について、ベンチマークを行い水準目標を設定して実行する必要がある。	中期目標案において「働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり」を位置付けているところであり、このことを実現するための中期計画案を、いただいたご意見も踏まえて検討してまいります。
(オ) 第3-2-(4) 事務部門の強化 (中期目標案5ページ)	
① 「事務部門の強化」について、堺市では市派遣職員から法人職員への切り替えが3年の間に非常にスムーズに進んだということだが、この点について静岡市は具体的なイメージがあるのか。	本市の場合においても、市の派遣職員から法人採用職員に計画的に切り替えてまいりたいと考えます。 第3、2、(4)の文中 「業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持った人材の確保・育成を行うこと」を、 「業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持った人材の確保・育成を計画的に行うこと」といたします。
(カ) 第4-1-(2) 収入の確保、費用の節減 (中期目標案6ページ)	
① 医師もコスト意識を持ち、また、診療報酬について理解し適切に対応していく必要がある。	病院が継続して市民に必要な医療を提供していくためには、健全な財務内容を維持していかなければならず、そのためには、ご意見の内容は不可欠であると考えます。 第4、1、(2)の文中 「経常収支の均衡のため、収入の確保及び費用の節減に日頃から取り組むとともに、・・・」の記述を、 「 <u>経常収支の均衡のため、収入の確保及び費用の節減について、全ての職員がこのことを意識して日頃から取り組むとともに、・・・</u> 」といたします。

評価委員からの意見要旨	ご意見への対応
(キ) 第5-1 環境に配慮した病院運営（中期目標案6ページ）	
<p>① 環境に配慮し、省エネルギー対策等を進める必要がある。</p>	<p>病院は、24時間稼働し、また、電力を消費する医療機器やディスポーザブル（使い捨て）材料を使用する等の特徴があり、このことを踏まえて、ご意見いただいた対策を進める必要があると考えます。</p> <p>第5、1の文中  「温室効果ガスの排出抑制、廃棄物の減量、省資源・省エネルギーなど、地球温暖化対策の推進と資源の有効活用に取り組み、環境に配慮した病院運営を行うこと。」を、  「病院は、24時間稼働し、また、電力を消費する医療機器やディスポーザブル（使い捨て）材料を使用する等の特徴があるため、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量、温室効果ガスの排出抑制など、地球温暖化対策の推進と資源の有効活用に取り組み、環境に配慮した病院運営を行うこと。」といたします。</p>